

教科：(商業) 科目：(商品開発) 単位数：2単位 対象：(第3学年選択生徒)

使用教科書：(実教出版 商品開発 商業315)

	指導内容	科目:商品開発の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	第1章 商品と商品開発 序 節 第1章で学ぶこと 1. 商品の多様化 2. 商品開発の意義と手順	<ul style="list-style-type: none"> ●商品の成り立ちおよび何を商品として考えるのかについて理解させる。 ●技術革新、経済の国際化、消費生活の変化、地球環境の保全などによる多様な商品提供の現状について認識させる。 ●商品開発の意義、商品のライフサイクルについて理解させる。 ●現代社会における商品開発の観点から、企業の社会的責任や法令遵守について認識させる。 ●販売後の商品の評価とそれに基づいて商品の改良を行うことの重要性について認識させる。 ●商品開発の手順と考え方について、その骨格を理解させる。 	出席 章テスト	6
5月	第2章 商品の企画 序 節 第2章で学ぶこと 1. 環境分析 2. 商品開発の意思決定と開発テーマの決定 3. 市場調査 4. 商品コンセプトの立案と商品企画書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ●環境分析の方法について理解させる。 ●環境の分析結果をもとに、企業が自社の特徴を踏まえて商品開発に関する意思決定を行う過程について理解させる。 ●市場調査の内容を認識させ、資料調査と実態調査の二つの市場調査の方法について理解させる。 ●市場調査の5つの手順について理解させる。 	出席 章テスト	6
6月	第3章 商品の開発 序 節 第3章で学ぶこと 1. 商品の仕様と詳細設計 2. 試作品の作成と評価 3. 開発商品のテスト 4. 事業計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ●商品仕様と仕様書に基づいた詳細設計、およびコンピュータによる設計とその評価について理解させる。 ●商品仕様に関する具体的な事例を取り上げ、開発者のねらいについて考察させる。 ●詳細設計に基づき、試作品を作成し、評価の項目と基準を設定して試作品を評価し、設計・仕様の変更を行う過程について理解させる。 ●機能テストや消費者テスト、市場テストなど開発商品に関するテストの方法について理解させる。 ●開発商品のテストによって、商品コンセプトの仮説検証を行うことの重要性について理解させる。 ●生産計画、マーケティング計画、財務計画といった事業計画の流れとその内容について理解させる。 ●事業計画をまとめ、社外向けの事業計画書を作成し、プレゼンテーションを行う実習をさせる。 ●販売後の市場調査に基づく事業計画の再検討の重要性について理解させる。 	出席 章テスト 提出物	8
7月	第4章 商品開発とデザイン 序 節 第4章で学ぶこと 1. デザインの基礎 2. パッケージデザイン 3. グラフィックデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●商品開発においてデザインが果たす役割について理解させる。 ●デザインの種類と、商品開発と関わり深いデザインについて認識させる。 ●配色や構成などデザインに関する基礎的な知識と技法を習得させる。 ●パッケージデザインの機能や種類、制作上の重視点について認識させる。 ●パッケージデザインの具体的な事例を取り上げ、その効果について考察させる。 ●パッケージデザインの技法を習得させ、実際にパッケージデザインを作成する実習をさせる。 ●グラフィックデザインの目的と社会性、種類について理解させる。 ●グラフィックデザインの具体的な事例を取り上げ、その効果について考察させる。 ●グラフィックデザインの技法を習得させ、実際にPOP広告や広告ポスターを作成する実習をさせる。 	出席 章テスト 定着度確認テスト	4
8月				
9月	第5章 商品開発と知的財産権 序 節 第5章で学ぶこと 1. 知的財産権の内容 2. 知的財産権の取得 3. 知的財産権の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●知的財産の保護の重要性について、偽ブランドや偽キャラクター商品など知的財産権の侵害に関する具体的な事例の考察を通して認識させる。 ●特許権、実用新案権、意匠権、著作権、商標権の概要とビジネスにおける活用の意義を理解させる。 ●不正競争防止法の目的について認識させる。 ●知的財産の権利化の意義について理解させる。 ●特許権、実用新案権、意匠権、商標権について、取得手続きの概要を理解させる。 ●取得した知的財産権について、独占的販売やライセンス取得など、その活用方法について理解させる。 	出席 章テスト 提出物	8
10月	第6章 商品流通と流通を支える活動 序 節 第6章で学ぶこと 1. 流通の仕組みと市場 2. 卸売業者の商品計画 3. 流通手段の多様化 4. 物流と流通を支えるその他の活動	<ul style="list-style-type: none"> ●流通の役割、流通の仕組みとその変化、および流通系列化について理解させる。 ●商品流通における市場の役割と課題について、具体的な事例を取り上げて理解させる。 ●卸売業と小売業の主要な形態や特性について理解させる。 ●業態ごとの流通戦略について、具体的な事例を取り上げて理解させる。 ●卸売業と小売業における商品計画の重要性について理解させるとともに、卸売業と小売業の今後の方向について考察させる。 ●物流の働きと仕組み、また流通の支援機能である金融・保険の働きと仕組みについて理解させる。 ●合理的な流通管理や円滑なサービスの提供を可能にしている情報システムの概要について、具体的な事例を取り上げて理解させる。 	出席 章テスト 提出物	8
11月	第7章 総合実習	●これまで学習した内容(特に第2～4章)に基づき、福井県池田町の特産品である木材を活用して商品開発を行う実習をさせる。	実習活動の様子	6
12月	第7章 総合実習	●これまで学習した内容(特に第2～4章)に基づき、福井県池田町の特産品である木材を活用して商品開発を行う実習をさせる。	実習成果物	6
1月	学習成果の発表	●実習活動で得た学習内容を発表する活動をさせる。	発表の内容	4
2月				
3月				